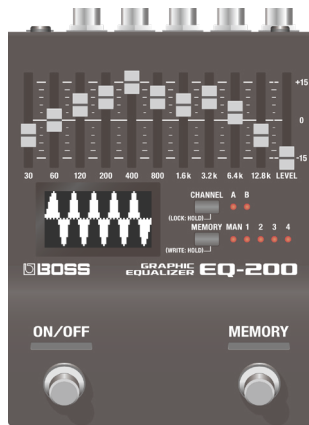


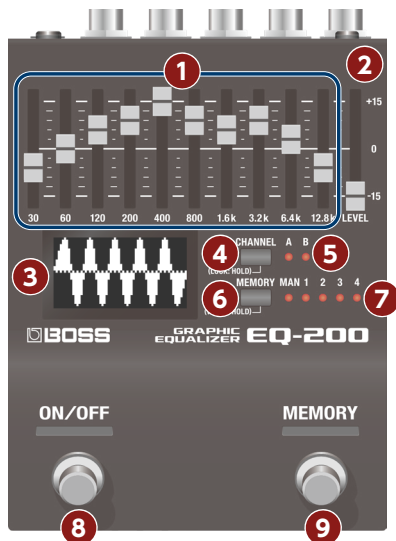
取扱説明書



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P. 14））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 グラフィック・イコライザー

30Hz ~ 12.8kHz まで（中心周波数はタイプによる変更が可能）、それぞれ± 15dB 変化させることができる、10 バンド・グラフィック・イコライザーです。

2 [LEVEL] スライダー

ノーマル／エフェクト切り替え時の音量の差を補正します。

3 ディスプレイ

イコライザーの状態を視覚的に表示したり、メモリー番号やパラメーターなどを表示したりします。

4 [CHANNEL] ボタン

ディスプレイにチャンネル A、B の状態を表示したり、メモリー番号を表示したりします。

誤操作を防ぐ（パネル・ロック）

[CHANNEL] ボタンの長押しで、イコライザーやボタンの操作を有効（アンロック）にするか／無効（ロック）にするかを切り替えることができます。

ロック中に操作をすると、ディスプレイに **[LOCKED]** と表示されます。

5 CHANNEL インジケーター

選択中のチャンネルを表示します。

インジケーターが消灯しているときは、ディスプレイにメモリー番号が表示されます。

※ LINK パラメーター (P. 10) が ON の場合は、A、B 両方のインジケーターが点灯します。

6 [MEMORY] ボタン

メモリー (MANUAL、1 ~ 127) の切り替えや保存をします (P. 6)。

[MEMORY] ボタンを押すたびに、メモリーが切り替わります。

7 MEMORY インジケーター

選択中のメモリーを表示します。

メモリー 5 ~ 127 が選ばれていると、インジケーターが消灯します。

8 [ON/OFF] スイッチ

エフェクトのオン／オフを切り替えます。

9 [MEMORY] スイッチ

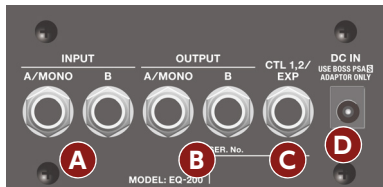
メモリーを切り替えます (P. 6)。

メモ

- フットスイッチの機能は、「SW FNC」 (ON/OFF SW FUNCTION)、「MEM FNC」 (MEMORY SW FUNCTION) で、切り替えることができます。
- フットスイッチの機能にかかわらず、[MEMORY] ボタンを押しながら、[MEMORY] スイッチを押すとメモリー番号が増加し、[ON/OFF] スイッチを押すとメモリー番号を減少させることができます。

リア・パネル (機器の接続)

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞って、すべての機器の電源を切ってください。



A INPUT (A/MONO、B) 端子

ギター、ベースやエフェクターを接続します。

ステレオ出力のエフェクターを接続するときは A 端子と B 端子を、モノで使用するときは A 端子のみを使用してください。

電源を入れる／切る

INPUT A 端子は、電源スイッチも兼ねています。
INPUT A 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。

電源を入れるとき

ギター・アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

ギター・アンプなどの電源を最初に切ってください。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

B OUTPUT (A/MONO、B) 端子

アンプやモニター・スピーカーに接続します。

モノで使用するときは OUTPUT A 端子のみを使用してください。このとき、ステレオで入力した音もモノで出力されます。

C CTL 1、2/EXP 端子

CTL 1/2 端子として使う

フットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、メモリーやチャンネルを切り替えることができます (P. 7)。

EXP 端子として使う

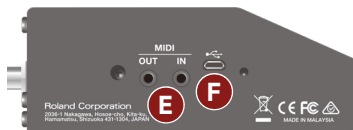
エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、ボリュームをコントロールすることができます。

- ※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

D DC IN 端子

AC アダプター（別売：PSA-100S）を接続する端子です。

- ※ AC アダプターは、必ず指定のもの（別売：PSA-100S）を、AC100V の電源で使用してください。
- ※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

サイド・パネル（機器の接続）**E MIDI 端子**

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35）で外部 MIDI 機器に接続します。外部 MIDI 機器を使って本機のメモリーを切り替えることができます。

- ※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

F USB 端子

USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。

- ※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。
- ※ プログラム・アップデート専用です。

メモリーの保存／切り替え

メモリーに保存する

エディットしたイコライザーの設定を保存することができます。

1. [MEMORY] ボタンを長押しします。

ディスプレイに「WRITE TO:」と表示されます。

2. [MEMORY] スイッチや [ON/OFF] スイッチを押して、保存先 (MAN、1 ～ 127) を選びます。

[MEMORY] ボタンを押して、保存先を選ぶこともできます。

中止するときは、[CHANNEL] ボタンを押します。

3. [MEMORY] ボタンを長押しして、保存先を決定します。

メモリーが保存されます。

メモリーを切り替える

保存したメモリーを呼び出します。

1. [MEMORY] ボタンを押して、メモリーを選びます。

ボタンを押すたびに、「MAN (マニュアル) → 1 → 2 → 3 → 4 ... 127 → MAN...」の順で変わります。

[MEMORY] ボタンを押したまま [MEMORY] スイッチや [ON/OFF] スイッチを押しても、メモリーを切り替えることができます。

メモ

EXT FROM (EXTENT FROM)、EXT TO (EXTENT TO) (P. 10) の設定を変えることで、メモリーの切り替え範囲を設定することができます。

[MAN] (マニュアル) とは？

STRUCT (STRUCTURE)=PARA、LINK=ON のとき、**[MAN]** を選ぶとグラフィック・イコライザーの位置の設定でイコライザーがかかります。

それ以外の設定では、MAN に保存した設定が呼び出されます。

全体の設定をする (MENU)

基本操作

1. [CHANNEL] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押します。

MENU モードに入ります。

2. [CHANNEL] ボタンまたは [MEMORY] ボタンを押してパラメーターを選びます。

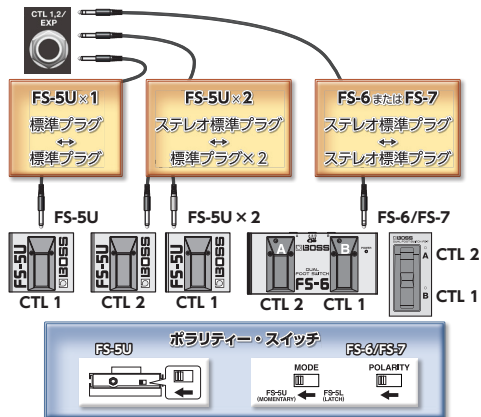
3. [ON/OFF] スイッチまたは [MEMORY] スイッチを押して、値を変えます。

4. [CHANNEL] ボタンと [MEMORY] ボタンを同時に押します。

MENU モードから抜けます。

外部ペダルに機能を割り当てる

CTL 1, 2/EXP 端子にフットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、メモリーやチャンネルを切り替えることができます。MENU の「C1 FNC」または「C2 FNC」で設定します (P. 8)。



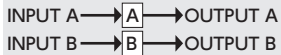
MENU パラメーター一覧

パラメーター	説明
SW FNC (ON/OFF FUNCTION)	[ON/OFF] スイッチ、[MEMORY] スイッチ、CTL 1, 2/EXP 端子に接続したフットスイッチの機能を設定します。 ※ スイッチによって、割り当てられる機能が異なります。 OFF : 動作しません。 ON/OFF : イコライザーをオン/オフします。
MEM FNC (MEMORY FUNCTION)	M-UP (MEMORY UP) 、 M-DN (MEMORY DOWN) : MEMORY EXTENT (P. 10) の設定に従いメモリーを選びます。
C1 FNC (CTL1 FUNCTION)	M-UP+ (MEMORY UP, ON / OFF) 、 M-DN+ (MEMORY DOWN, ON / OFF) : MEMORY EXTENT (P. 10) の設定に従いメモリーを選びます。スイッチを長押しすると、エフェクトをオン/オフします。
C2 FNC (CTL2 FUNCTION)	MAN (MANUAL) : マニュアルを選びます。 M-1 ~ 127 (MEMORY 1 ~ 127) : メモリー 1 ~ 127 を選びます。

パラメーター	説明
SW FNC (ON/OFF FUNCTION)	A, B (A, B ON/OFF) : チャンネル A (または B) をオン/オフします (LINK が「ON」のときは AB 同時にオン/オフします)。
MEM FNC (MEMORY FUNCTION)	A+, B+ (A, B ON/OFF+) : メモリーを切り替えます。スイッチの長押しで、チャンネル A (または B) をオン/オフします (LINK が「ON」のときは AB 同時にオン/オフします)。
C1 FNC (CTL1 FUNCTION)	
C2 FNC (CTL2 FUNCTION)	
EXP FNC (EXPRESSION FUNCTION)	CTL 1, 2/EXP 端子に接続したエクスプレッション・ペダルの機能を設定します。 A : チャンネル A のレベルを調節します。 B : チャンネル B のレベルを調節します。 TOTAL : 全体の出力レベルを調節します。
EXP MIN (EXPRESSION MIN)	EXPRESSION FUNCTION でコントロールするパラメーターの可変範囲を設定します。
EXP MAX (EXPRESSION MAX)	0 ~ 100 : 最小値、最大値を設定します。

パラメーター	説明
SW PREF (ON/OFF PREFERENCE)	
MEM PREF (MEMORY PREFERENCE)	
CTL1 PREF (CTL1 PREFERENCE)	
CTL2 PREF (CTL2 PREFERENCE)	
EXP PREF (EXPRESSION PREFERENCE)	

MEM、SYS: メモリーごとに設定するか、全体で共通にするかを選びます。

パラメーター	説明
STRUCT (STRUCTURE)	A / B チャンネルのイコライザーの接続のしかたを設定します。 PARA (PARARELL) : INPUT / OUTPUT 端子の A / B で、A / B チャンネルそれぞれ接続します。  SERIES : A / B チャンネルのイコライザーを直列に接続します。  入力モノにミックスされ、出力は A/B とともに同じ信号が出力されます。 ➔ 詳しくは「STRUCT (STRUCTURE) について」(P.11) をご覧ください。
TYPE	設定によりスライダーの中心周波数が変わります。 30.800.12k : 30/60/120/200/400/800/1.6k/3.2k/6.4k/12.8k (表示どおり) 32/1k/16k : 32/63/125/250/500/1k/2k/4k/8k/16k 28/880/14k : 28/55/110/220/440/880/1.75k/3.5k/7k/14k

全体の設定をする (MENU)

パラメーター	説明
LINK	A / B チャンネルでイコライザーの設定を共通にするかしないかを設定します。 OFF : A / B チャンネルでそれぞれ設定できます。 ON : A / B チャンネルで共通の設定になります。
EXT FROM (MEMORY EXTENT FROM)	メモリーの切り替え範囲 (MEMORY EXTENT FROM ~ TO) を設定します。
EXT TO (MEMORY EXTENT TO)	MAN、M-1 ~ 127
RX CH (MIDI RECEIVE CHANNEL)	MIDI 受信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、MIDI メッセージを受信しません。 1 ~ 16、OFF
TX CH (MIDI TRANSMIT CHANNEL)	MIDI 送信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、MIDI メッセージを送信しません。 1 ~ 16、RX (RECEIVE)、OFF
PC IN	プログラム・チェンジを受信するか (ON) しないか (OFF) を設定します。
PC OUT	プログラム・チェンジを送信するか (ON) しないか (OFF) を設定します。
CC IN	コントロール・チェンジを受信するか (ON) しないか (OFF) を設定します。
CC OUT	コントロール・チェンジを送信するか (ON) しないか (OFF) を設定します。

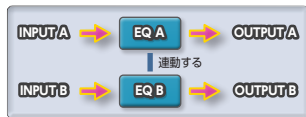
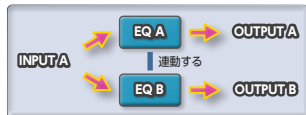
10

パラメーター	説明						
SW CC (ON/OFF SW CC)	各操作子に対応するコントローラー・ナンバーを設定します。 OFF、1 ~ 31、64 ~ 95						
MEM CC (MEMORY CC)							
CTL1 CC							
CTL2 CC							
EXP CC (EXPRESSION CC)							
EFX SW CC	直接エフェクトをオン/オフします。						
MIDI THRU	MIDI IN 端子から入ってきた MIDI 信号を、そのまま MIDI OUT 端子から送信するか (ON) 送信しないか (OFF) を設定します。						
CONTRAST	ディスプレイのコントラストを調節します。 1 ~ 10						
PC#1 ~ 128	各プログラム・チェンジを受信したときに、どのメモリーを選ぶかを設定します。 OFF、MAN、M-1 ~ 127 EQ-200 から送信する PC#						
<table> <tr> <th>メモリー</th><th>プログラム・ナンバー</th></tr> <tr> <td>MAN</td><td>1</td></tr> <tr> <td>MEMORY 1 ~ 127</td><td>2 ~ 128</td></tr> </table>		メモリー	プログラム・ナンバー	MAN	1	MEMORY 1 ~ 127	2 ~ 128
メモリー	プログラム・ナンバー						
MAN	1						
MEMORY 1 ~ 127	2 ~ 128						

STRUCT (STRUCTURE) について

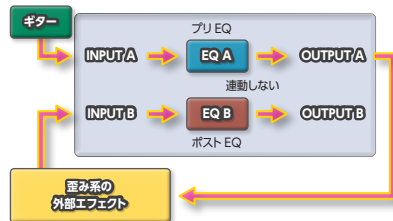
STRUCT (STRUCTURE) = PARA (PARARELL)、
LINK = ON

ステレオ EQ として動作します。



STRUCT (STRUCTURE) = PARA (PARARELL)、
LINK = OFF

独立した 2 系統のモノ EQ として動作します。



STRUCT (STRUCTURE) = SERIES

本体フットスイッチの設定を A と B にしておくと、
直列に接続した 2 台のモノ EQ として動作します。



工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

EQ-200 を工場出荷時の設定に戻します。

1. **[ON/OFF] スイッチと [MEMORY] スイッチを押しながら、電源を入れます (INPUT A 端子にプラグを挿します)。**

ディスプレイに「FACTORY RESET」と表示されます。

2. **[MEMORY] スイッチを押します。**

ディスプレイに「ARE YOU SURE?」と表示されます。

中止するときは、[ON/OFF] スイッチを押します。

3. **[MEMORY] スイッチを押します。**

ファクトリー・リセットが実行されます。

4. **ディスプレイに「COMPLETED」と表示されたら、電源を入れ直します。**

電池交換のしかた

図のように、向きに注意して電池を入れます。

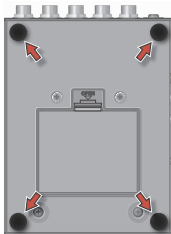
- ※ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。
- ※ 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- ※ 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、AC アダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。このとき保存していないデータは、消えることがあります。電源コードや AC アダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』『安全上のご注意』チラシと取扱説明書に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- ※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくると画面に「BATTERY LOW」と表示されます。新しい電池と交換してください。



ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。
ゴム足は図の位置に貼り付けます。

※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。



主な仕様

BOSS EQ-200 : グラフィック・イコライザー

電源	アルカリ電池（単 3 形）× 3、 AC アダプター（別売）
消費電流	170mA
連続使用時の 電池の寿命	アルカリ電池：約 7 時間 ※使用状態によって異なります。
外形寸法	101（幅）× 138（奥行）× 60（高さ）mm（ゴム足を除く） 101（幅）× 138（奥行）× 62（高さ）mm（ゴム足を含む）
質量	700 g（電池を含む）
付属品	「取扱説明書の入手方法」チラシ 「安全上のご注意」チラシ アルカリ電池（単 3 形）× 3 ゴム足× 4 保証書
別売品	AC アダプター：PSA-100S フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5 MIDI/TRS コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

安全上のご注意／使用上のご注意



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- ・付属品
ゴム足 (P. 13)
-

その他の注意について

- ・失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ・ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ・抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 本製品には、第 3 者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright (c) 2009-2017 ARM Limited. All rights reserved. Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。



ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川 2036-1